

# 「いのちと暮らしを守る」施策を推進

## コロナ対策、市街地活性化へ力

宮沢賢治や東北有数の温泉地など、歴史文化や観光資源に恵まれた花巻市。新型コロナウイルス感染症が観光業や市民生活に影響を及ぼす中、1月に行われた市長選で、上田東一氏が3選を果たしました。市民の暮らしを守りながら、未来につなぐまちづくりをどう進めるのか。上田市長に3期目の重点施策を伺いました。

(聞き手は川村公司岩手日報社常務取締役広告事業局長)

—3選おめでとございます。これまでの実績をもとにどのような姿勢で市政運営に臨みますか。

市長 「市民のいのち、暮らしを守る」施策として、新型コロナウイルス感染症対策、地域医療の確保と子育て支援、移住・定住促進や市街地活性化、産業団地整備、農業を守る施策に引き続き取り組んでいきます。

そのための財源ですが、市長に就任した2013年度末は、財政調整基金が64億8千万円、まちづくり基金は24億4千万円で合わせて89億円ほどでしたが、20年度末は財政調整基金71億1千万円、まちづくり基金58億円で合計約129億円に増えていきます。ふるさと納税が好調なこととあって、21年度末時点でさらに数億円がプラスされる見通しであり、その点、市の財政状況はよくなっています。22年度当初予算は市長選のために骨格予算となりましたが、これから新規事業を行うための補正予算を組んでいくことになると思います。

特にコロナ対策は、医療関係者のご尽力もあり、県内でも素早くワクチン接種対応ができました。また、困窮世帯への支援策、キャッシュレスQRコード決済サービス「Pay Pay(ペイペイ)」を使った事業者応援策、温泉事業者への支援もまわっています。22年度は市民生活や産業を守るために、使うべきところには使わなければならないと思います。

また、地域医療体制については、総合花巻病院移転の際、岩手医科大学附属病院や県立中部病院との機能分担を進めることができました。県立中部病院に加え、市内の産科医師も確保することが決まり、今後さらに増やすための協議を進めています。

市街地活性化の核となる新花巻図書館建設やJR花巻駅の東西自由通路(橋上化)の整備問題についても、市民に案をお示ししながら決めていきたいと考えています。



東西自由通路(駅橋上化)の整備など、市民の利便性を高める構想について議論が進むJR花巻駅

—3選おめでとございます。感染対策と社会経済の両立をどのように図っていきますか。

市長 感染対策と社会経済の両立は、簡単に方向性を示すことは難しいと思います。なぜなら変異株がどんどん出ている中で、毒性の強さが分からない部分があります。その時の感染状況、ウイルスの毒性の強弱で対策を変えていかなければいけません。

ワクチン接種は市独自の優先枠を算入している学生や学校の先生方、障がい者施設、保育園など、クラスターが発生しやすいところへ案内しています。また、市の施設を開いたり閉じたりして、利用を制限しています。ただし、温泉施設に助成しているときに観光施設を閉じるのは整合性がとれませんので、そうした点は注意しています。感染対策と経済対策のどっちをとるかという点では、感染状況を見ながら対策の強弱をコントロールしていくことが重要です。

—具体的な施策について伺います。新型コロナウィルス感染症が市民生活に大きな影響を及ぼしていると思います。

### policy 01 感染対策

—具体的な施策について伺います。新型コロナウィルス感染症が市民生活に大きな影響を及ぼしていると思います。

### policy 02 市街地活性化

—新花巻図書館とJR花巻駅東西自由通路の整備構想に対し、市民の間には多くの意見があります。どのように理解を得ていくお考えですか。

市長 新花巻図書館の整備に関しては、私が市長になる以前の12年に市民の方々と検討し、市に提言した経緯があります。建設場所については、市民参画手続きを取り、17年8月制定された「新花巻図書館整備基本構想」、まなび学園周辺やJR花巻駅東口のJR所有地などを含む市の都市機能誘導区域内に建設する方針が示されました。市としては駅東口の土地を借りて建設する構想を発表しましたが、現時点で借地に建設するの考えはありません。現在、市民の方々とメンバーを含む「新花巻図書館整備基本計画」案検討会議で図書館の在り方について話し合っています。ここで建設場所について方向性がまとまれば、それを市民の意見の集約化を図りたいと思います。まとまらない場合は、場所を選定する新たな組織で考えていきます。いずれ場所の問題は市民の意見集約が大事であると思っています。

—JR花巻駅の東西自由通路については、旧花巻市時代から駅西側の住民から西口改札をつくってほしいという要望があり、10年には実質的に橋上化の要望があったと聞きます。

現在、JR東日本に建設コストを下げた複数の案を提示してほしいとお願ひしています。市で西口広場の整備方針も検討しています。それらが出た段階で、再び市民の意見を聞きたいと思っています。

駅を利用しない方も利便性が上がることに反対意見はないと感じています。結局のところ費用対効果が十分なのかという疑問や、自由通路をつくることで他の事業ができなくなるという心配があるのだと思います。

駅の橋上化・自由通路の整備は、費用のほぼ半額について国の財政支援があることが前提になりますし、残りの費用も国の交付税による支援が見込まれる市債を活用します。大きな財政負担を負うものではないことを丁寧に説明していく必要があります。

### policy 03 産業振興

—市の産業団地整備や企業誘致の方策をお聞かせください。

市長 市では、旧市の時代から市が独自の産業団地を整備してきました。大きな財政負担を負うものではないことを丁寧に説明していく必要があります。

—市内の工業団地、流通団地は商談中の区画を除くと、企業に紹介できる区画がない状況です。

そこで、東北自動車道花巻パーキングエリア(PA)に整備中のスマートインターチェンジ(IC)に近い約33分の土地について、これまで所有者などへの説明会、基本計画・設計、埋蔵文化財調査調査を実施しており、そのうち約12分については、数年後に分譲できる状態にしたいと考えています。

—市長は1期目から移住・定住対策や子育て支援に力を注いできました。今後どのように発展させ、人口や活力の維持につなげていきますか。

市長 移住・定住対策はやるべきことはやってきたと思っています。特に空き家バンクの活用が非常にうまくいっています。市長になってから151件が活用されており、21年度だけでも20件に上りました。県外からの空き家バンク利用者や市外からの新規就農者、また子育て世帯の住宅取得に対する補助など、各種補助金が非常によく利用されていますので、継続していきます。

### policy 04 移住・定住

—市長は1期目から移住・定住対策や子育て支援に力を注いできました。今後どのように発展させ、人口や活力の維持につなげていきますか。

—市長は1期目から移住・定住対策や子育て支援に力を注いできました。今後どのように発展させ、人口や活力の維持につなげていきますか。

—市長は1期目から移住・定住対策や子育て支援に力を注いできました。今後どのように発展させ、人口や活力の維持につなげていきますか。

—市長は1期目から移住・定住対策や子育て支援に力を注いできました。今後どのように発展させ、人口や活力の維持につなげていきますか。

—市長は1期目から移住・定住対策や子育て支援に力を注いできました。今後どのように発展させ、人口や活力の維持につなげていきますか。

—市長は1期目から移住・定住対策や子育て支援に力を注いできました。今後どのように発展させ、人口や活力の維持につなげていきますか。

—市長は1期目から移住・定住対策や子育て支援に力を注いできました。今後どのように発展させ、人口や活力の維持につなげていきますか。

—市長は1期目から移住・定住対策や子育て支援に力を注いできました。今後どのように発展させ、人口や活力の維持につなげていきますか。

—市長は1期目から移住・定住対策や子育て支援に力を注いできました。今後どのように発展させ、人口や活力の維持につなげていきますか。

—市長は1期目から移住・定住対策や子育て支援に力を注いできました。今後どのように発展させ、人口や活力の維持につなげていきますか。

—市長は1期目から移住・定住対策や子育て支援に力を注いできました。今後どのように発展させ、人口や活力の維持につなげていきますか。

—市長は1期目から移住・定住対策や子育て支援に力を注いできました。今後どのように発展させ、人口や活力の維持につなげていきますか。

—市長は1期目から移住・定住対策や子育て支援に力を注いできました。今後どのように発展させ、人口や活力の維持につなげていきますか。

—市長は1期目から移住・定住対策や子育て支援に力を注いできました。今後どのように発展させ、人口や活力の維持につなげていきますか。



上田 東一氏 東京大卒。1977年三井物産入社。2003年米ゼネラル・エレクトリック(GE)金融事業系会社役員。05年帰郷しサンクリン代表取締役。67歳。花巻市出身。



二枚橋地区内に市が整備・分譲した産業団地。企業誘致や雇用の活性化に向け、さらなる団地整備が求められている



新型コロナウイルス感染症の影響を受ける花巻温泉郷。温泉・宿泊事業者の支援策や新たな観光ルートのPRにより、観光業の維持・発展を図る